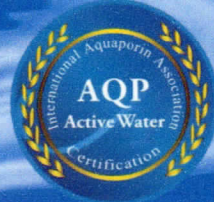
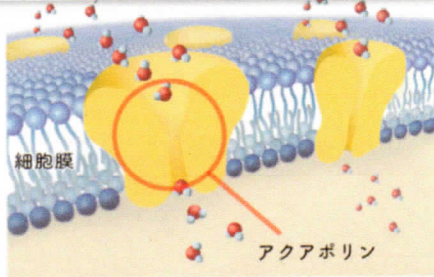


脳にしみいる水 アクアポリン AQUAPORIN 4 超透過性水



国際アクアポリン協会認定品

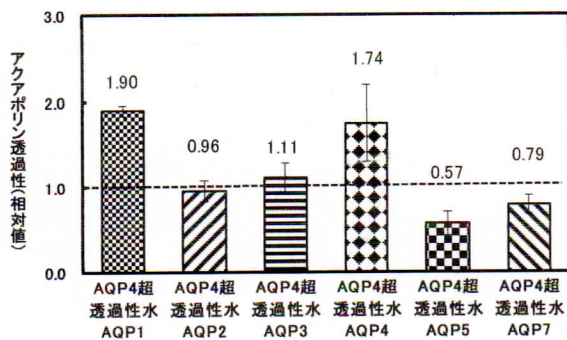
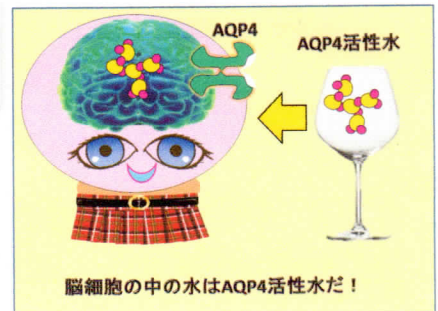
アクアポリンで水が分かる！



アクアポリン(AQP)は水が通る穴がある分子で細胞膜にあります。細胞にとっても重要な分子なので、発見者にノーベル賞が授与されました。ヒトに13種類のAQPがあります。アクアポリンを使えば水の性質を科学的に解明できます。その結果、AQP4を良く通る水を作ることができました。

AQUAPORIN 4 超透過性水が完成！

脳の細胞膜にはAQP4が多く分布し、水はAQP4を通して細胞に入ります。脳細胞の中の水を調べたところ、AQP4を良く通る水で満たされていました。AQP4を通りやすい水は脳に集まる水で、疲れた脳の新陳代謝を促し、脳を元気にすることが期待されます。



天然のミネラルウォーターを岩石やいろいろな装置で処理するとAQP4を良く通る水「AQUAPORIN 4 超透過性水」ができました。この水は水道水と比べた結果AQP1透過性が1.90倍、AQP4透過性が1.74倍高い水でした。

研究開発に健闘しております。



北川良親名誉教授 (秋田県立大学)
アクアポリンと水および細胞の関係について研究しています。アクアポリンの研究でノーベル賞を受賞したピーター・アグリ教授 (米国) と共同研究を行い、国際的な科学雑誌に共著論文を出しています。現在、合同会社北川科学総合研究所を設立し、第一線で研究活躍中。国際アクアポリン協会の代表理事。著書に「アクアポリン革命」。